

# ヤマハゴルフクラブ 取扱説明書



付属品 ヘッドカバー（※一部アイロンには添付されないものもあります）

この度はヤマハゴルフクラブをお買い上げいただき誠に有難うございます。より安全にご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読み下さるようお願いいたします。お読みいただいた後は保証書と一緒に大切に保管して下さい。保証書には、販売店印、ご購入日等の記入があることをお確かめのうえご購入されました販売店よりお受け取り下さい。保証書を紛失されますとたとえ保証期間中であっても保証対象外となります。又保証書の再発行はいたしませんのでご了承願います。

## ゴルフを安全に楽しむために

ゴルフクラブの使い方、手入れ方法や保管方法など、内容を正しく理解してください。下記の「警告」や「注意」事項を必ず守っていただき、安全で快適なゴルフライフをお楽しみください。

### 警告

- 各部に異常がないか必ず確認**  
クラブを使用する前には、シャフト、ヘッドのヒビ割れ、シャフト接着のゆるみ、ビスの浮き、グリップのゆるみなど、各部に異常がないことを必ず確認してください。けがの原因となることがあります。
- 自分にマッチしたクラブの使用**  
力が強く、体力のある方がシニア向け、レディース用やジュニア用のクラブを使用すると、破損し、けがの原因となることがあります。自分の体力や技量にマッチしたクラブを使用してください。  
※自分にマッチしたクラブの確認は、販売店にご相談ください。
- 落雷は早めに避難**  
ラウンド中や屋外で使用中、雷が鳴りはじめたら、クラブを体から遠ざけて、なるべく早く安全な場所に避難してください。カーボンシャフトやスチールシャフトは電気を通すため、感電する危険があります。
- 消耗したグリップは早めに交換**  
表面がツルツルになったり、すり減ったり、ヒビ割れたグリップは必ず取り替えてください。スイング中、クラブが手から滑り抜けて、人に当たる危険があります。また、異常を感じた場合は、早めに取り替えてください。
- スイング時は周囲の安全を必ず確認**  
スイングする場合は、人、樹木、建造物などに触れないよう、周囲の安全を必ず確認してください。人に当たると死亡やけがの原因になります。また、道路や公園など、人通りのある場所では絶対に使用しないでください。  
※長尺仕様モデルは、特に注意してください。
- 打撃は必ず適切なものを使用**  
ゴルフボールや打撃練習器具以外のものは打たないでください。また、コンクリートやアスファルト、石など、硬いものの上では打たないでください。けがやクラブ破損の原因になります。
- 強い衝撃の後は必ずチェック**  
インパクト時に、強いダフリ（地面への打撃）をしたときは、ネック部やシャフトに異常がないか必ず点検してください。そのまま使用するとシャフトが折れて、けがの原因となることがあります。また、樹木や建造物、石や金属などで衝撃を受けた場合も、必ず点検してください。
- バッテリーでのショットは危険**  
バッテリーは、グリーン上でのパッティングやグリーン周辺からのアプローチ用に設計されていますので、それ以外では使用しないでください。特に、ショットをしようとシャフトが折れて、クラブ破損やけがの原因になります。

### 注意

- クラブを保護しヘッドのキズや割れに注意**  
ウッドクラブは、ヘッドカバーを使用して、ヘッドにキズがつかないように注意してください。また、大型ヘッドのドライバーは、素材の肉厚が薄くなっていますので、過度の割れや凹みが生じることがあります。使用されない時は必ず、ヘッドカバーを装着してください。
- シャフトの折れ口は、けがに注意**  
シャフトが破損した場合は、折れ口には絶対に触れないでください。切りキズや刺しキズを負う危険があります。特に、カーボンシャフトの繊維は、刺さりやすいので注意してください。破損箇所はテープや布などで保護し、シャフトを早めに取り替えてください。
- 無理な負荷は破損の原因**  
シャフトの硬さや調子を調べるために、過度の力で曲げたり、ねじったりしないでください。シャフトが破損する場合があります。
- シャフトのキズは早めに交換**  
シャフトを踏みつけたり、衝撃によりキズがついた場合は、早めに交換してください。たとえ小さなキズでも、そのまま使用を続けるとシャフトが折れ、けがの原因になります。
- ネックの打撃は破損の原因**  
極端なヒールショットやネック打ちは、シャフトやヘッドが破損の原因になることがあります。特に、金属ヘッドのネック打ちは、ネック部の曲がりやシャフト折れの原因となります。
- クラブを大切に**  
クラブを踏みつけたり、たたきつけたりせず、取り扱いには注意してください。また、クラブを杖代わりに使用したり、重いものを乗せたり、ぶら下がったりすると、破損やけがの原因になります。
- キャディバッグからの出し入れには注意**  
キャディバッグからクラブを出し入れする場合は、クラブに強い力が加からないように注意してください。また、クラブの入ったキャディバッグの転倒には、特に注意が必要です。
- クラブの搬送はキズに注意**  
クラブを搬送する場合は、すりキズや打ちキズがつかないように、キャディバッグを利用するなど、包装に注意してください。

⊘ してはいけない禁止行為を示しています。Ⓜ 守っていただくべき義務行為を示しています。

(社)日本ゴルフ用品協会 統一取扱説明書(平成18年9月作成)に準ずる。

## ゴルフクラブを湿気、サビなどから守るために、 使用後は必ず手入れをしてください。

### クラブヘッドのお手入れ方法

- ① クラブのフェース面、ソールなどに付着した砂、泥、芝などをブラッシングにより落とします。
- ② 市販のオイル、クリーナーをムラなく塗ります。
- ③ 仕上げに乾いたきれいな布で磨いてください。
- ④ 乾いた布で細かな汚れや水分を拭き取ります。

### 軟鉄

ヘッド表面には、メッキ加工を施していますが、ソフトな軟鉄素材を活かすために、きわめて薄い膜厚になっています。強酸性やコンパウンド（研磨剤）入りのサビ取り剤やクレンジャー、スチールウールなどは使用しないでください。ヘッドの表面をキズつけ、サビの原因になります。

### 金属(チタン、メタルなど)ヘッドの塗装

金属ヘッドの塗装は、芝の摩擦やボールや砂との衝撃により、塗装が摩耗したり、剥げ落ちることがあります。ヘッド本体にキズがない限り、破損の原因にはなりません。研磨剤を含まないメタルヘッド専用クリーナーを使用してください。

### カーボン

素材の特性上、過度の加熱により品質が劣化し、破損の原因になることがありますので、ストーブやバーナーなど、熱源の近くには置かないようご注意ください。

### チタン、ステンレス、アルミ、銅合金

水分や汚れが付いたまま保管したり、車のトランクなど湿気が多い場所に長時間放置すると、サビや腐食が発生する場合があります。塗装していない部分は、サビ取り剤で軽く磨いてください。

### 特殊メッキ/ IP(イオンプレーティング)等

やわらかい打球感を重視した表面仕上げを施しており、従来のニッケルクロムメッキに比べ、表面硬度が軟らかく、膜厚も薄くなっています。そのため、すりキズ、当たりキズがつきやすく、また、特有の変色やサビなど、表面変化が起こりやすいため、強酸性や研磨剤の入ったサビ取り剤は絶対に使用しないでください。IP加工部の再修理は対応できません。ソール部分はIP処理のため、金属ブラシなどの使用はキズが付くのでしないでください。

### 軟鉄削り出しパターン

軟鉄本来の軟らかさを活かすため、ヘッド表面にきわめてソフトで薄い膜厚のメッキを施しています。サビ防止のため、使用後は速やかに、水分や汚れを拭き取り、専用オイルを塗り、乾いた布で磨いてください。

### シャフト

- ① 乾いた布で付着したホコリ、泥、汚れを拭き取ります。
- ② 市販のオイル、クリーナーをムラなく塗ります。
- ③ スチールシャフトの錆び防止のために、ご使用後は乾いた布で細かな汚れや水分を十分拭き取ります。特に雨天時使用後は、キャディバッグから出して、風通しの良い場所で陰干しをしてください。

### ラバーグリップ

- ① 乾いた布で付着したホコリ、泥、汚れを拭き取ります。
- ② 日陰で自然乾燥させてください。

### 雨の日のプレー後

- ① 乾いた布で水分をよく拭き取った後、風通しのよい場所で、陰干しをします。  
※キャディバッグからクラブを出し、ヘッドカバーは外します。
- ② 完全に乾いてから、手入れしてください。

### クラブの保管方法

- 高温、多湿の場所は避けてください。
- 車のトランクの中や直射日光の当たる場所には、長時間置かないでください。
- 火気に近づけないでください。
- 子どもが取り出してむやみに振り回さないように、保管管理してください。
- 物が落下したり、倒れてこない場所に保管してください。

### 修理方法

ご自身での修理は、安全上の問題が生じます。修理の際は、必ずお買い上げ販売店にご依頼ください。また、転居・贈答品など、お買い上げ販売店にご相談できない場合は、弊社お客様ダイヤルまでご連絡ください。

### 改造について

クラブを改造された場合は、メーカーとして責任は取れません。

(2023.9.20)